

令和6年度事業実績報告書

令和7年4月30日

愛媛県議会議長 福羅 浩一 様

議員氏名 大 西 誠



主な政務活動の実施状況について、次のとおり報告します。

1 調査研究の概要

（目的）

① 愛媛の観光振興にどのように取り組んでいくのか？

（目的）

観光立県を重要課題に掲げる愛媛県のインバウンド政策はどうか。

（調査結果）

コロナ終息後、海外からのインバウンドは直ちに回復し今後も大幅な増加が見込まれる。愛媛においてもソウル便のデیلیー2便化や好調なプサン線・台湾線の搭乗率を背景に道後・松山城・しまなみ海道を中心に観光立県愛媛の成果が着実に実を結んでいる。今後はインバウンド客の県内他の地域への誘客促進と安定運航の為のアウトバウンド推進に一層の注力を推進していく。

① 防災減災対策にどの様に取り組むのか？

（目的）

愛媛県の最重要課題の一つである防災減災対策への県内各地の取組みはどうか。

（調査結果）

国が進める国土強靱化政策の推進で西日本豪雨災害からの復興も終盤を迎えている。肱川流域の河川改修も架橋改修は終了し周辺工事も優先順位をつけながら各地域の声を真摯に聞いて一刻も早い復旧完了を目指し鋭意取り組んでいる所である。

伊予市内北山崎海岸の工事も早期完成を目指し着実に工事が進捗中で一刻も早い完成が待ち望まれる段階まで進展している。

大谷川上流域の河川改修は引続き県当局へ要望を続けており、合わせて中流域の護岸改修と河床掘削を依頼していく。

② 人口減少対策にどの様に取り組むのか？

（目的）

確実に進行する人口減少問題を踏まえ疲弊する地域活性の維持を目指して人口減少対策にどの様に取り組んでいくのか。



(調査結果)

急速に進行する人口減少の中、特に中予圏域以外では加速度的に人口減少が進展し消滅集落が多数発生する事が危惧される。移住促進では近年明るい兆しが見られており引き続き県内全域への移住定住促進策を推進すると共に地域の活力維持のためにも市町連携を図りDXの推進やワーケーション・企業誘致による移住促進等あらゆる手段を活用して20市町+官民一体となってあらゆる人口減少政策を推進していく。

2 その他の政務活動の概要

① 地域の声を反映する取り組みを実施

(目的)

伊予市も急速に少子高齢化と人口減少が進み、人口は35,000名を切るまで減少した。各地域の取組みと声を少しでも反映し官民一体となって地域課題に取り組むべく各地域の生の声を活かす取り組みを実施する。

(内容)

多くの地域行事もほぼ回復してきた。予算の関係もあり規模縮小となる行事も散見されるが、積極的に地域行事に参加し、現場の声を聞き要望を取り纏める様に努めた。各種団体との定期的な意見交換会に従来以上に積極的に参加し業界が抱える課題の把握と解決に向けた方策を共に議論してきた。

② 各種議連活動に積極的に参加

(目的)

幅広い議員政務活動を有効に行う為、各種議連活動に積極的に参加し意見交換会や街頭活動PRイベントを行う。

(内容)

国際交流振興議連ではソウル便・プサン便を利用しインバウンドの継続促進に加えアウトバウンド増加に向けた取組み模索の為に、各市役所・観光団体と意見交換を実施した。がん議連では最新のがん治療と患者のケアを含め今後の愛媛におけるがん治療推進の研修を行った。拉致議連では家族会の高齢化を再認識し、引き続き全拉致被害者の完全帰国までの活動継続を誓い合った。